

# 注意と制限

# 8章

8.1	NetWare®の注意と制限 .....	130
8.1.1	設定について .....	130
8.1.2	印刷するとき .....	132
8.1.3	印刷制御について .....	132
8.2	SMBの注意と制限 .....	133
8.2.1	設定について .....	133
8.2.2	電源を切るとき .....	134
8.2.3	印刷するとき .....	134
8.3	UNIXの注意と制限 .....	136
8.3.1	環境設定について .....	136
8.3.2	電源を切るとき .....	137
8.3.3	印刷操作について .....	137
8.4	TCP/IP(LPD)の注意と制限 .....	139
8.4.1	設定について .....	139
8.4.2	電源を切るとき .....	140
8.4.3	印刷するとき .....	140

# 8.1 NetWare®の注意と制限

NetWare®での注意/制限事項は、次のとおりです。

## 8.1.1 設定について

### ●●● 本機側の設定

ポート状態を【キドウ】に設定したとき、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更するか、メモリーを増設してください。

### ●●● TCP/IPを使用するとき(本機側)

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定してください。
- ポート状態を【キドウ】に設定したとき、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更するか、メモリーを増設してください。

### ●●● TCP/IPを使用するとき(クライアント側)

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- NIS(Network Information Service)の管理下で使用されているクライアントで、ネットワーク(IPアドレスなど)の設定を行う場合は、NISの管理者に相談してください。

### ●●● NDSの場合

NDSで環境設定を行うとき、次の点にご注意ください。

項目	PSEVERモードの場合
ファイルサーバー数	1 ツリーに最大16サーバー
プリントキュー数	最大48キュー
通知リストの通知者数	最大48ユーザー
パスワードの入力文字数	最大32文字*

\* : 33文字以上のパスワードを設定すると、プリントできなくなります。

### ●●● バインダリーの場合

バインダリーで環境設定を行うとき、次の点にご注意ください。

項目	PSEVERモードの場合
ファイルサーバー数	最大16サーバー
プリントキュー数	最大48キュー
通知リストの通知者数	最大48ユーザー
パスワードの入力文字数	最大32文字*

\* : 33文字以上のパスワードを設定すると、プリントできなくなります。

### ●●● バインダリーリファレンスキューの使用不可 (ディレクトリーサービス/プリントサーバーモード時)

本機は、バインダリーリファレンスキューをサポートしていません。そのため、バインダリーリファレンスキューを使った印刷はできません。

## 8.1.2 印刷するとき

### ●●● TCP/IPを使用する場合

パケットバーストは無効です。印刷速度は、IPX/SPXよりも遅くなります。

### ●●● NetWare5.1を使用する場合

DocuPrint C2220は、XeroxPrinterGatewayをサポートしていません。

## 8.1.3 印刷制御について

### ●●● PSC/PCONSOLE使用時

NetWare®では、以下のようにサポートしていないオプション機能があります。  
IPX/SPX使用時のみ印刷制御可能です。

- : サポートする(本機の機能)
- x : サポートしない

パラメーター	サポート状況	備考
プリンター時停止		プリントサーバーモード時は、本機の状態は「停止」になる。
ジョブ中断		-
プリンタ停止		-
プリンタ起動		-
プリンタリワインド		-
用紙先端マーク	x	-
フォームフィード	x	-
用紙のセット		-

# 8.2 SMBの注意と制限

SMBの注意/制限事項は、次のとおりです。

## 8.2.1 設定について

### ●●● 本機側の設定について

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定してください。
- ポート状態を【キドウ】に設定したとき、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更するか、メモリーを増設してください。
- 使用環境に応じて、受信バッファ容量【SMBスプール】のサイズを設定してください。送信されたデータより、受信バッファ容量【SMBスプール】のサイズが小さい場合、受信できないことがあります。

### ●●● クライアント側の設定について

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- NIS (Network Information Service) の管理下で使用されているクライアントで、ネットワーク (IPアドレスなど) の設定を行う場合は、NISの管理者に相談してください。

## 8.2.2 電源を切るとき

---

### ●●●【SMBスプール】の設定が【メモリスプール】のとき

印刷中のデータを含め、本機のメモリーにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがクライアント上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

### ●●●【SMBスプール】の設定が【ハードディスクスプール】のとき

印刷中のデータを含め、本機のハードディスクにスプールされた印刷データはすべて保存されます。再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

### ●●●【SMBスプール】の設定が【スプールシナイ】のとき

印刷中のデータを含め、本機の受信バッファにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがクライアント上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

## 8.2.3 印刷するとき

---

### ●●●【SMBスプール】の設定が【ハードディスクスプール】、または【メモリスプール】のとき

印刷データの受信を開始したときに、印刷データのサイズがハードディスク、またはメモリーの残り容量より大きい場合、その印刷データは受信できません。

**補足**

印刷データが受信容量を超えた場合、クライアントによってはすぐに再送信することがあります。このときクライアントがハングアップしたように見えます。対処として、クライアント側でその印刷データの送信を中止してください。

### ●●● 【SMBスプール】の設定が【スプールシナイ】のとき

あるクライアントから印刷要求を受け付けていた場合、別のクライアントからの印刷要求を受け付けることができません。

### ●●● クライアントのIPアドレスやコンピューター名を変更した場合

クライアントのIPアドレスやコンピューター名を変更した場合、本機側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本機の受信バッファに印刷データがない状態で、電源を切/入してください。

#### 補足

本機の受信バッファにある印刷データの印刷中止/強制排出は、操作パネルから操作できます。操作方法は、『DocuPrint C2220 本体取扱説明書』の「4.3 印刷を中止する/印刷指示したジョブの状態を確認する」、および「7.6 印刷データを強制排出させる」を参照してください。

### ●●● 本機がオフライン状態のとき

本機がオフライン状態のときに、クライアントから印刷を指示すると、本機ではデータ受信が行われず、クライアント側には書き込みエラー発生のエラーダイアログボックスが表示されます。ただし、SMBでは、オフライン状態の場合でもクライアントから印刷データを受信できます。

### ●●● ジョブの削除

Windows NT® 4.0の場合、Service Pack 4以上をインストールしていないと、ジョブを削除できません。データ受信中にジョブを削除すると、書き込みエラーが表示されます。この場合、エラーダイアログボックスに表示される[再試行]は無効です。

# 8.3 UNIXの注意と制限

UNIXクライアントから本機を使用する場合の注意/制限事項は次の通りです。

## 8.3.1 環境設定について

### … プリンター側の設定

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスは、システム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- 使用するネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要項目を設定してください。
- ポート状態を【キドウ】に設定した場合、メモリーが不足すると、操作パネルにメモリー不足を知らせるメッセージが表示されたり、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合、使用していないポートのポート状態を【テイシ】にする、メモリーサイズを変更する、またはメモリーの増設をしてください。
- 使用環境に応じて、受信バッファメモリーのサイズを設定してください。受信バッファメモリーのサイズが、送信されたファイルデータより小さいと、受信できないことがあります。

### … ワークステーション側の設定

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスは、システム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- IPアドレスは、スーパーユーザーが設定します。スーパーユーザーの権限を持っていない場合、ネットワーク管理者に設定を依頼してください。
- OSのバージョンによっては、設定方法やコマンドの絶対パスが異なる場合があります。詳細は、各ワークステーションのマニュアルを参照してください。
- NIS (Network Information Service) の管理下で使用されているワークステーションで、ネットワーク (IPアドレスなど) を設定する場合は、NIS の管理者に相談してください。
- 設定できるプリント言語/モードは、プリンターの機種や構成によって異なります。使用しているプリンターで、使用できるプリント言語/モードを確認してから、設定してください。
- 同一のワークステーション上から1台のプリンターに対して設定するプリント言語/モードは、1種類をお勧めします。2種類以上のプリント言語/モードを設定した場合は、問い合わせ (lpq) によって、ワークステーションのディスプレイに同一のジョブ番号が表示される場合があります。



## 8.3.2 電源を切るとき

### ●●● 内蔵増設ハードディスク装置を装着していないとき

印刷出力中の印刷データを含め、本機にスプールされた印刷データは、すべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷指示された印刷データは存在しません。

ただし、印刷指示の直後に電源を切ると、印刷データはワークステーション上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示をしても、保存されている印刷データから出力されます。

### ●●● 内蔵増設ハードディスク装置を装着しているとき

印刷出力中の印刷データを含め、本機にスプールされた印刷データは、すべて保存されます。再び電源を入れたときは、新しく印刷指示をした場合でも、保存されている印刷データから出力されます。

## 8.3.3 印刷操作について

### ●●● 印刷 (lpr)

- 印刷指示をするワークステーション上で処理されないオプション(例: -mオプション)は、すべて無効になります。
- 1回のlprコマンドで、複数のファイルを印刷指示する場合、同時に指定できるのは32ファイルまでです。32ファイル以上を指示した場合、33番め以降のファイルは無視され、32番めまでのファイルが印刷指示をしたものとして印刷処理されます。
- アスキー形式のPostScript®ファイルを印刷する場合は、「PSASC」を指定してください。TBCPを有効にして、データを処理します。
- バイナリー形式のPostScript®ファイルを印刷する場合は、「PSBIN」を指定してください。TBCPを無効にして、データを処理します。
- Postscript®言語での指定がある場合、コピー部数の指定は無効になります。

### ●●● 問い合わせ (lpq)

- 長いファイル名は途中までしか表示されません。
- 表示される印刷指示の情報は、印刷指示順に最大64です。

- 同一のワークステーション上から1台のプリンターに対して2種類以上のプリント言語/モードを設定した場合は、問い合わせ( lpq )によって、ワークステーションのディスプレイに同一のジョブ番号が表示される場合があります。

#### ●●● 取り消し( lprm )

- 1回の lprm コマンドで、複数ファイルの印刷指示をしていた印刷データを取り消す場合、ファイルごとに取り消すことはできません。印刷データを取り消すと、一度に全ファイルが取り消されます。
- オプションを指定しないで実行した場合や、指定されたオプションに該当する印刷データがなかった場合、取り消しは無効になります。
- 取り消せる印刷データは、印刷指示をしたワークステーションからの印刷データに限られます。ほかのワークステーションから指示された印刷データは取り消せません。
- 印刷処理が開始された印刷データは、取り消しができない場合があります。

#### ●●● その他

ワークステーション側でIPアドレスやワークステーション名を変更した場合、本機側での問い合わせ処理や取り消し処理が正常にできなくなります。本機側でスプールに印刷データがない状態で、電源を切/入してください。

#### 参照

プリンターのスプールにある印刷データの印刷中止/排出は、操作パネルで指示できます。操作方法は、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「4.3 印刷を中止する/印刷指示したジョブの状態を確認する」、および「7.6 印刷データを強制排出させる」を参照してください。

# 8.4 TCP/IP (LPD) の注意と制限

TCP/IP (LPD) での注意/制限事項は、次のとおりです。

## 8.4.1 設定について

### ●●● 本機側の設定について

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定をしてください。
- ポート状態を【キドウ】に設定したとき、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更するか、メモリーを増設してください。
- 使用環境に応じて、受信バッファ容量【lpdスプール】のサイズを設定してください。送信されたデータより、受信バッファ容量【lpdスプール】のサイズが小さい場合、受信できないことがあります。

### ●●● クライアント側の設定について

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- NIS (Network Information Service) の管理下で使用されているクライアントで、ネットワーク (IPアドレスなど) の設定を行う場合は、NISの管理者に相談してください。

## 8.4.2 電源を切るとき

---

### ●●●【lpdスプール】の設定が【メモリスプール】のとき

印刷中のデータを含め、本機のメモリーにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがクライアント上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

### ●●●【lpdスプール】の設定が【ハードディスクスプール】のとき

印刷中のデータを含め、本機のハードディスクにスプールされた印刷データはすべて保存されます。再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

### ●●●【lpdスプール】の設定が【スプールシナイ】のとき

印刷中のデータを含め、本機の受信バッファにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがクライアント上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

## 8.4.3 印刷するとき

---

### ●●●【lpdスプール】の設定が【ハードディスクスプール】、または【メモリスプール】のとき

印刷データの受信を開始したときに、印刷データのサイズがハードディスク、またはメモリーの残り容量より大きい場合、その印刷データは受信できません。

**補足**

印刷データが受信容量を超えた場合、クライアントによってはすぐに再送信することがあります。このときクライアントがハングアップしたように見えます。対処として、クライアント側でその印刷データの送信を中止してください。

### ●●●【lpdスプール】の設定が【スプールシナイ】のとき

あるクライアントから印刷要求を受け付けていた場合、別のクライアントからの印刷要求を受け付けることができません。

### ●●● クライアントのIPアドレスやコンピューター名を変更した場合

クライアントのIPアドレスやコンピューター名を変更した場合、本機側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本機の受信バッファに印刷データがない状態で、電源を切/入してください。

#### 補足

本機の受信バッファにある印刷データの印刷中止/強制排出は、操作パネルから操作できます。操作方法は、『DocuPrint C2220 本体取扱説明書』の「4.3 印刷を中止する/印刷指示したジョブの状態を確認する」、および「7.6 印刷データを強制排出させる」を参照してください。



# トラブルと思ったら

# 9章

9.1	NetWare®環境でのトラブル	144
9.1.1	印刷されないとき	144
9.1.2	【電源を一度切ってください】と表示されているとき	148
9.1.3	希望の印字結果が得られないとき	148
9.1.4	障害発生メッセージが通知されないとき	149
9.2	SMB環境でのトラブル	150
9.2.1	プリンターが見つからないとき	150
9.2.2	希望の印字結果が得られないとき	151
9.2.3	プリンターのウィンドウからドキュメントを削除できないとき	151
9.2.4	プリンタードライバーを自動ダウンロードできないとき	152
9.3	UNIX環境でのトラブル	153
9.3.1	印刷されないとき	153
9.3.2	希望の印字結果が得られないとき	154

# 9.1 NetWare®環境でのトラブル

NetWare®使用時にトラブルが発生した場合、考えられる原因、確認方法、処置は次のとおりです。

## 9.1.1 印刷されないとき

原因	確認方法	処置
ネットワーク構成機器が、フレームタイプの自動設定に適合していない。	プリンターが接続されたネットワーク構成機器の、ポートのデータリンクランプが点灯しているか確認する。ネットワーク中に存在しているファイルサーバーの、フレームタイプが統一されているか確認する。	接続したいファイルサーバーに設定されているフレームタイプを、プリンターに設定する。
クライアントからプリンターまでのネットワーク上に、障害が生じた。	クライアントからNWADMINを使って、対象プリンターのオブジェクトが参照できるか確認する。*	クライアントからプリンターまでの間に存在する、通信不能なネットワークケーブルを交換する。
プリントキューの[ユーザ]に、ジョブ投入者のユーザー名、またはジョブ投入者が属するグループ名が登録されていない。	1. クライアントからNWADMINを使って、対象キューのオブジェクトを参照し[ユーザ]の情報にジョブ投入者のユーザー名、またはジョブ投入者が属するグループ名が登録されているか確認する。* 2. クライアントからPCONSOLEを使って、[プリントキュー]の[ユーザ]にジョブ投入者のユーザー名、またはジョブ投入者が属するグループ名が登録されているかを確認する。*	1. [プリントキュー情報]の[ユーザ]に、ジョブ投入者のユーザー名、またはジョブ投入者が属するグループ名が登録されているプリントキューに、印刷ジョブを再投入する。 2. クライアントからNWADMINあるいはPCONSOLEを使って、[プリントキュー情報]の[ユーザ]に、ジョブ投入者のユーザー名、またはジョブ投入者が属するグループ名を登録する。*
プリントキューへのジョブ投入が禁止されている。	クライアントからNWADMINを使って、対象プリントキューの[識別]で、オペレータフラグがチェックされているか確認する。* PCONSOLEを使って、「プリントキュー」の「ステータス」で、「ユーザーがプリントジョブを送出可能」になっているか確認します。	クライアントからNWADMINを使って、対象プリントキューの「識別」で、オペレータフラグの各項目がチェックされているか確認する。* クライアントからPCONSOLEを使って、「Yes」に設定する。

\* : 設定方法や確認方法については、NetWare® Online Documentation参照してください。



原因	確認方法	処置
プリントサーバーのプリントサーバーユーザーに、ジョブ投入者のユーザー名、またはジョブ投入者が属するグループ名が定義されていない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. クライアントからNWADMINを使って、対象プリントサーバーの[ユーザ]情報にジョブ投入者のユーザー名、またはジョブ投入者が属するグループ名が登録されているか確認する。*</li> <li>2. クライアントからPCONSOLEを使って、[プリントサーバ]の[ユーザ]にジョブ投入者のユーザー名、またはジョブ投入者が属するグループ名が登録されているかを確認する。*</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. クライアントからNWADMINを使って、対象プリントサーバーの[ユーザ]情報にジョブ投入者のユーザー名、またはジョブ投入者が属するグループ名を登録する。*</li> <li>2. [プリントサーバ]の[ユーザ]に、ジョブ投入者のユーザー名、またはジョブ投入者が属するグループ名が登録されているプリントキューに、印刷ジョブを再投入する。</li> </ol>
印刷ジョブを投入したプリントキューが、プリンターに割り当てられていない。	クライアントからNWADMINを用いて、対象プリントキューの[割り当て]でサービスしているプリンターのリストに対象とするプリンターが割り当てられているか確認する。*	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プリンターに割り当てられているプリントキューに、印刷ジョブを再投入する。*</li> <li>2. クライアントからNWADMINを用いて、対象プリンターの[割り当て]の追加で対象とするキューを追加する。*</li> <li>3. クライアントからPCONSOLEを使って、[プリントサーバ情報]の[プリンタ]の下に[該当するプリンタ]の[プリントキュー割り当て]に印刷ジョブを投入したプリントキューを割り当てる。</li> </ol>
プリンターの最大サポートキュー数を超えてプリントキューが設定されている。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. クライアントからNWADMINを使って、対象プリンターの「割り当て」のプリントキューリストに希望のプリントキューが割り当てられているか確認する。*</li> <li>2. クライアントからPCONSOLEを使って、[プリントサーバ]の[プリンタ]の下に該当するプリンタの[プリントキュー割り当て]に希望のプリントキューが割り当てられているか確認する。</li> </ol>	プリンターに割り当てられているプリントキューに、印刷ジョブを再投入する。*
スレーブファイルサーバーが設定されていない(バイナリサービスモード)。	クライアントからPCONSOLEを使って、[プリントサーバ]の該当するプリントサーバーで、[サービス NetWareサーバ]にスレーブファイルサーバーが登録されているか確認する。*	クライアントからPCONSOLEを使ってスレーブファイルサーバーを登録する。*

\* : 設定方法や確認方法については、NetWare® Online Documentation参照してください。

## 9.1 NetWare®環境でのトラブル

原因	確認方法	処置
スレーブファイルサーバーの設定が異なっている(バイナリサービスモード)。	クライアントからPCONSOLEを使って、[プリントサーバ][プリンタ][プリンタxxxの環境設定]で、プリンタタイプが[他で定義済み]になっているか確認する。*	[他で定義済み]でない場合は[他で定義済み]に変更したあと、設定パラメーターを反映する。*
印刷ジョブの用紙番号と、プリンターにマウントされている用紙番号が異なっている。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. クライアントからNWADMINを使って、対象プリンターを選択したあと、環境設定の開始用紙番号が印刷ジョブの番号と同じか確認する。*</li> <li>2. クライアントから、PCONSOLEを使って、[プリントサーバ][プリンタ][プリンタxxxの環境設定]で[開始用紙]が印刷ジョブの[用紙番号]と同じかどうかを確認する。*</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. クライアントからNWADMINを使って、対象プリンターの環境設定で、[開始用紙]の番号を印刷ジョブの番号と一致させる。*</li> <li>2. クライアントからPCONSOLEを使って、[用紙開始]をジョブの用紙番号と合わせる。*</li> <li>3. クライアントからPCONSOLEを使って、印刷ジョブを中断し、印刷時に指定する用紙番号、と異なっている場合、用紙番号を変更したあと、印刷ジョブをプリントキューへ再投入する。</li> </ol>
印刷ジョブのデータ形式と、クライアントの印刷環境の設定が一致していない。	-	PostScript®言語でバイナリ形式のファイルを印刷する場合、プリンター側でTBCPを有効にする。クライアント側でWindows®を使用している場合はCtrl-Dを出力しない設定にする。
IPXチェックサムのレベル設定が異なっている。	ファイルサーバーのコンソール画面上でsetコマンドを使って、IPXチェックサムがレベル0、または2に設定されていないか確認する。	ファイルサーバーのコンソール画面上で次のコマンドを入力して、IPXチェックサムを、レベル1に設定する。 set Enable IPX Checksum=x(x:1)
NCPパケットシグネチャのレベル設定が異なっている。	ファイルサーバーのコンソール画面上でsetコマンドを使って、NCPパケットシグネチャがレベル0、または3に設定されていないか確認する。	ファイルサーバーのコンソール画面上で次のコマンドを入力して、NCPパケットシグネチャをレベル1に設定したあと、ファイルサーバーを再起動する。set NCP Packet Signature Option=x(x:1)
接続したサーバーが、ルータ越しに設定されている。(TCP/IPのとき)	ルーターが、マルチキャストを使用できるか確認する。	マルチキャストを使用できない場合、同一ネットワークにNetWare5サーバーをTCP/IPで設置する。ルータ越しのアドレスを「SYS: ¥ETC ¥SLP.CFG」ファイルに記述する。

\*: 設定方法や確認方法については、NetWare® Online Documentation参照してください。

原因	確認方法	処置
DHCPリースの使用時に、IPアドレスのリース期間が切れた、またはない。(TCP/IP使用時)	クライアントから、プリンターにPingを発行する。	IPアドレスを使用できるように設定する。
別のプリンターオブジェクトに接続した。	クライアントからNWADMINを使って、希望のプリントサーバーのレイアウト情報で、正しくオブジェクトが割り当ててあるか確認する。*	1. クライアントからCentreWareドライバ & ネットワークユーティリティのCD-ROMを使って、ファイルサーバー名/ツリー/コンテキスト/動作モード正しく設定する。 2. クライアントからCentreWare Internet Servicesを使って、ファイルサーバー名/ツリー/コンテキスト/動作モードを正しく設定する。
NetWareポートが【キドウ】になっていない。	機能設定リストを出力する。	NetWareポートを【キドウ】にする。
ファイルサーバーがダウンしている。	Windows®の[ネットワークコンピュータ]で、対象とするファイルサーバーを検索する。	ファイルサーバーを起動させる。
ネットワーク上に、同一の装置名を持ったプリンターが存在する。	プリンターの電源を切り、クライアントからNWADMINを使って該当するプリンターオブジェクトのステータスが、ジョブ待機中になっていることを確認する。	クライアントからCentreWareドライバ & ネットワークユーティリティのCD-ROMを使って、別の装置名に設定する。
NetWareポートが起動していない。	機能設定リストを出力し、IPX/SPX使用時、ネットワーク番号が0000000のまま(NetWareサーバーダウン)かどうかを確認する。また、TCP/IP使用時にIPアドレスが0.0.0.0のまま(固定IPアドレス未指定、またはアドレス提供サーバー(DHCP)がダウン)かどうかを確認する。	IPX/SPXの場合、NetWareサーバーを起動する。TCP/IPの場合、固定IPアドレスをセットするか、アドレス提供サーバー(DHCP)を起動する。
プリンタータイプが異なっている。	クライアントからPCONSOLEを使って、[プリントサーバ情報] [プリンタ] [プリンタ×××の環境設定]で、プリンタタイプ:パラレル、ポート:LPT1、位置:自動モード(ローカル)となっているか確認する。*	クライアントからPCONSOLEを使って、プリンタタイプ:パラレル、ポート:LPT1、位置:自動モード(ローカル)に設定し、設定パラメーターを反映する。*
プリンタータイプが異なっている。	NWADMINから、「プリンター」の「環境設定」を確認します。	NWADMINから、「プリンター」の「環境設定」を選択し、「プリンタタイプ」を「パラレル」に、「通知」をクリックし「ポート」を「LPT1」に、「接続タイプ」を「自動ロード」に設定します。

\* : 設定方法や確認方法については、NetWare® Online Documentation参照してください。

## 9.1 NetWare®環境でのトラブル

原因	確認方法	処置
デフォルトで設定されている装置名が間違っている。	機能設定リストまたはスタートアップページを出力し、正しい装置名が入力されているかを確認する。	装置名に正しい名前(プリントサーバー名)を設定する。
ディレクトリツリー名がセットされていない。	機能設定リストを出力して、ツリー名が指定されているかを確認する。	ツリー名をセットする。
コンテキストがセットされていない。	機能設定リストを出力して、コンテキストが指定されているかを確認する。	コンテキストをセットする。
NetWareポートの「キドウプロトコル」が、正しく設定されていない。	操作パネルから、接続したいサーバーがサービスしているプロトコルを選択していることを確認する。	サーバーがサービスしているプロトコルを選択する。

\* : 設定方法や確認方法については、NetWare® Online Documentation参照してください。

### 9.1.2 【電源を一度切ってください】と表示されているとき

原因	確認方法	処置
NetWareインターフェイスで障害が発生した。	-	プリンターの電源を切/入する。

### 9.1.3 希望の印字結果が得られないとき

原因	確認方法	処置
印刷ジョブのプリント言語とプリンター側で設定されているプリント言語が異なっている。	プリンターのプリント言語を確認する。	印刷ジョブのプリント言語と、プリンターのプリント言語の設定を合わせる。
印刷ジョブにSJISコードが含まれている。	印刷ジョブにSJISコードが含まれていないかを確認する。	なし(ESC/Pの機能仕様に依存する)。
印刷ジョブにTABコードが含まれている。	印刷ジョブにTABコードが含まれていないかを確認する。	ESC/Pの水平TABの設定値を適切な値に設定する。

## 9.1.4 障害発生メッセージが通知されないとき

プリントを指示したクライアント上にメッセージが通知されないとき、考えられる原因、確認方法、処置は次のとおりです。

### ●●● プリンター障害発生が通知されないとき

原因	確認方法	処置
プリントサーバーの通知者リストに登録されていない。	クライアントからPCONSOLEを使って、[プリントサーバ情報][プリンタ][プリンタxxxの環境設定][通知]に、ジョブ投入者のユーザー名、またはジョブ投入者が属するグループ名が登録されているか確認する。	[通知]にユーザーのユーザー名、またはユーザーが属するグループ名を登録する。
プリントサーバの通知者リストに登録されていない。	NWADMINから、「プリンター」の「通知」の通知者リストにジョブ投入者のユーザー名、またはジョブ投入者が属するグループ名が登録されているか確認する。	NWADMINから、「プリンター」の「通知」の「追加」を選択して、ユーザを追加する。

### ●●● ジョブ完了が通知されないとき

原因	確認方法	処置
クライアントから印刷ジョブを投入するときに、NOTIFYオプションが指定されていない。	印刷ジョブを投入するときに、NOTIFYオプションが指定されているかどうかを確認する。	印刷ジョブを投入するときに、NOTIFYオプションを指定する。
クライアント上で、NetWare CASTOFFが実行された。	-	クライアント上で、NetWare CASTONを実行する。

# 9.2 SMB環境でのトラブル

SMB使用時にトラブルが発生した場合、考えられる原因、確認方法、処置は次のとおりです。

**補足**

[Config.txt]は、CentreWare Internet Servicesからも変更できます。『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「第5章 便利なツールを使用する」を参照してください。

## 9.2.1 プリンターが見つからないとき

原因	確認方法	処置
クライアントとプリンターの動作プロトコルが違っている。	クライアント上の操作で、「他のコンピュータの検索」(スタート>検索>他のコンピュータ)で検索を実行した場合はプリンターを発見できるが、「ネットワークコンピュータ」を開いてプリンターを発見しようとした場合には発見できない。	プリンターと各クライアントのSMBの動作プロトコルを合わせる。
マスターブラウザが複数存在している。		同一ワークグループ内に多数のクライアントが存在する場合、SMBの設定ファイル「config.txt」の「自動マスタモード」項目を「OFF」に設定し、プリンターの電源を入れ直す。(プリンターの管理者のみ設定可能)
ネットワーク(サブネット)が違う。		プリンターとクライアントが違うネットワークにある場合は、システム管理者に問い合わせる。
ホスト名の名前検索が正しく動作していない。(TCP/IPの場合)	PINGコマンドを発行し プリンターのIPアドレス指定では応答するが、ホスト名指定では応答しない。	SMBの設定ファイル「config.txt」の「WINS 1st サーバ」、「WINS 2nd サーバ」、「サブネットマスク」の各項目と、クライアント側のWINS、DNS、LMHOSTなどの設定を確認する。(プリンターの管理者のみ設定可能)
プリンターに設定されたホスト名が、すでに存在している。	機能設定リストのSMBのステータス情報に、「ホスト名の重複」が記載されていることを確認する。	SMBの設定ファイル「config.txt」の「ホスト名」項目を、重複しない名前に変更する。 または、CentreWare Internet Servicesを使用して、ホスト名を重複しない名前に変更する。 または、プリンターの設定を初期設定に戻す。(プリンターの管理者のみ設定可能)

### 9.2.2 希望の印字結果が得られないとき

原因	確認方法	処置
プリンターが、ほかのクライアントからの印刷要求を処理している。 (ノンスプールモードのみ)	プリンターが印刷処理中であることを確認する。(Windows® 95 / Windows® 98 / Windows NT® 4.0の場合、印刷待ちファイルを格納する領域がないことを示す、書き込みエラーダイアログが表示される)	プリンターの印刷処理が終了後に印刷要求を行うか、またはプリンター側の設定をスプールモードに切り替える。
プリンターのコネクション数が、最大数を超過している。	プリンターが複数のクライアントからの同時処理要求(印刷要求および状態問い合わせ要求など)を処理していることを確認する。 (Windows® 95 / Windows® 98の場合、リモートコンピューターが使用できないことを示す書き込みエラーダイアログが表示される)	しばらくしてから、再び印刷要求を行う。 または、SMBの設定ファイル「config.txt」の「最大コネクション数」項目の設定値を増加させ、プリンターの電源を入れ直す。 (プリンターの管理者のみ設定可能)

### 9.2.3 プリンターのウィンドウからドキュメントを削除できないとき

原因	確認方法	処置
プリンターのウィンドウに表示される、すべてのドキュメントを削除しようとしている。 (プリンターの管理者のみ実行可能)	プリンターウィンドウの「プリンタ」メニューから印刷ジョブを削除しようとしていないか確認する。 (Windows® 95 : 「印刷ジョブのクリア」メニュー)	削除したいドキュメントを選択して、プリンターのウィンドウの「ドキュメント」メニューから、印刷ジョブを削除する。(Windows® 95 : 「印刷中止」メニュー)
ドキュメントのオーナーが異なっている。	選択したドキュメントの「オーナー」(Windows® 95の場合)と、Windows®にログインしているログイン名が一致しているか確認する。	ドキュメントの「オーナー」でWindows®にログインし直してから、ドキュメントを削除する。
ServicePack 4.0以上がインストールされていない。 (Windows NT® 4.0の場合)	Windows NT® 4.0起動時に表示されるServicePackのバージョンを確認する。	バージョンが4.0以上のService-Packをインストールする。

## 9.2.4 プリンタードライバーを自動ダウンロードできないとき

原因	確認方法	処置
自動ダウンロード機能が無効になっている。	SMBの設定ファイル「config.txt」の、「自動ドライバロード」項目を確認する。 (プリンターの管理者のみ確認可能)	SMBの設定ファイル「config.txt」の「自動ドライバロード」項目を「ON」に設定し、プリンターの電源を入れ直す。(プリンターの管理者のみ設定可能)
異なる機種 of プリンタードライバーを格納している。	プリンターの機種を確認し、適切なプリンタードライバーが格納されているかどうかを確認する。	適切なプリンタードライバーを格納したあと、プリンターの電源を入れ直す。(プリンターの管理者のみ設定可能)
プリンタードライバーが「Drivers」フォルダーより2階層下までのフォルダーに格納されていない。	プリンタードライバーが格納されているフォルダーが、「Drivers」フォルダーより2階層下までのフォルダーかどうかを確認する。	プリンタードライバーを「Drivers」フォルダーより2階層先までのフォルダに格納し、プリンターの電源を入れ直す。 (プリンターの管理者のみ可能)
プリンタードライバーが格納されているフォルダーの名称が、任意の半角英数字で8文字までの名称になっていない。	「Drivers」フォルダー内の「driver.txt」を開き、「フォルダ名が8.3形式になっていません」と表示されていることを確認する。	フォルダーの名前を、半角英数字で8文字までの名前に変更し、プリンターの電源を入れ直す。 (プリンターの管理者のみ可能)



# 9.3 UNIX環境でのトラブル

UNIX使用時にトラブルが発生した場合、考えられる原因、確認方法、処置は次のとおりです。

## 9.3.1 印刷されないとき

原因	確認方法	処置
正しいIPアドレスが設定されていない。	ネットワーク管理者に、プリンターのIPアドレスが正しいか調べてもらう。	プリンターに正しいIPアドレスを設定する。
クライアントから、プリンターまでのネットワーク上に障害が発生している。	クライアント上でネットワークテストモード(ping)を起動して、通信状態を調べる。	ネットワーク管理者に、ネットワーク障害について調べてもらう。
クライアント上で、正しくプリンターエントリーの設定ができていない。	クライアント上の、プリンターエントリーの設定を調べ直す。クライアントの/etc/printcapファイルを調べるか、lpstatコマンドの応答結果で調べる。	正しいプリンターエントリーを設定し直す。
オフラインになっている。	オンラインランプが消えていないか確認する。	<input type="button" value="ポーズ"/> 、 <input type="button" value="モード"/> 、または <input type="button" value="メニュー"/> を押し、ポーズ状態やプリンターの設定モードを解除して、オンラインランプがついているか確認してください。
ユーザーから1回のプリント指示で送信されるプリントデータの容量が、受信バッファメモリーの容量を超えている。(スプールモードの場合)	本機の、受信容量の上限を確認して、1回のジョブで送信しようとしているプリントデータの容量と比較してみる。	1. プリント指示をしたプリントデータが1つのファイルで受信容量の上限を超える場合は、そのファイルを受信容量の上限より小さいサイズに分割してプリント指示をする。 2. 複数のファイルで受信容量の上限を超える場合は、1度にプリント指示をするファイル数を減らす。
プリント処理中に対処不可能な障害が発生した。	操作パネルで「LPDエラー」の表示を確認する。	プリンターの電源スイッチを切/入する。
伝送速度の設定が、ネットワークと異なっている。	ネットワーク管理者に、伝送速度の設定が正しいか調べてもらう。	正しい伝送速度を設定し直す。
クライアントとプリンターがブリッジで接続された異なるリングに存在し、ソースルーティングが「なし」に設定されている。	ネットワーク管理者に、ソースルーティングが正しく設定されているか調べてもらう。	ソースルーティングを「あり」に設定する。
プリントジョブのデータ形式と、クライアントの印刷環境の設定が一致していない(クライアントから送られてくるプリントデータがTBCPを含む場合)。	-	プリンタ名にPSASCを指定してプリントする。

### 9.3 UNIX環境でのトラブル

原因	確認方法	処置
プリントジョブのデータ形式と、クライアントの印刷環境の設定が一致していない。(クライアントから送られてくるプリントデータが、バイナリー形式の場合)	-	PostScript®言語でバイナリー形式のファイルを印刷する場合、クライアント側で、論理プリンター名にPSBINを指定してプリントする。
プリントに使用する用紙がなくなっている。	操作パネルで、「用紙補給」の表示を確認する。	用紙トレイに用紙をセットする。用紙サイズを変更した場合は、機械管理者画面で、新しい用紙サイズを設定する。
クライアントと一致するトランスポートプロトコルを選択していない。	操作パネルから、選択されているトランスポートプロトコルを確認する。	クライアントと一致するトランスポートプロトコルを選択する。

#### 9.3.2 希望の印字結果が得られないとき

原因	確認方法	処置
指定したプリント言語と、プリントデータのプリント言語が異なっている。	指定したプリント言語と、プリントデータのプリント言語を確認する。	プリントデータのプリント言語に一致したプリント言語を指定する。

# 索引

記号	
[プリンタ構成]タブ	64
-C オプション	109
1トレイユニット	42
3トレイユニット	42
3トレイユニット(大容量)	42

A	
AppleTalk	4
ART フォームメモリー	18
ART ユーザ定義メモリー	18
ART EX フォームメモリー	18

C	
cancel コマンド	107
CentreWare ドライバー & ネットワークキューティリティ	22
config.txt の例	59

H	
HPGL/ オートレイアウトメモリー	18

I	
IPP	116
IP アドレスの設定	11

L	
lpq コマンド	112
lprm コマンド	104
lpr コマンド	103
lpstat コマンド	113
lp コマンド	106

M	
message.txt	56

N	
NDPS	81
NetWare®	5, 78

NIS	96
-----	----

P	
PS 使用メモリー	19

S	
SMB	46

T	
TCP/IP Direct Print Utility	3
TCP/IP(lpd)	3
TCP/IP(UNIX)	4

W	
Windows® ネットワーク(SMB)	2

イ	
インターネット印刷	5

オ	
オフセット排出トレイ	42, 65

カ	
カスタムセットアップ	30, 38

キ	
給紙トレイキャビネット	42, 65

サ	
サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの設定	12

シ	
受信バッファ	19

チ	
注意と制限	130, 133, 136

ト	
トラブルと思ったら .....	144

ナ	
内蔵ハードディスク .....	42, 65

ヒ	
標準セットアップ .....	26

フ	
[プリンタ構成]タブ .....	64
プリンタネームサービス .....	70

メ	
メモリー .....	17
メモリー容量 160MB 以上 .....	65

リ	
両面ユニット .....	42, 65

ロ	
ローカル .....	2

IBM製品については、弊社営業担当員または弊社サービス技術員にお問い合わせください。

**IBM 5591 カラー・レーザー・プリンター ネットワーク環境設定ガイド**

著作者 富士ゼロックス株式会社/日本アイ・ピー・エム株式会社  
発行者 富士ゼロックス株式会社  
ドキュメント プロダクト カンパニー  
ヒューマンインターフェイス アンド デザイン開発部

発行年月 2001年 10月 第1版

P/N 55P1215

Printed in Japan



日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒106-8711  
東京都港区六本木3-2-12

2001年 10月

P/N 55P1215